資料３－１

**次期循環型社会推進計画について**

１．国の動向・府の現状

≪国の動向≫

・「プラスチック資源循環戦略(2019年5月策定)」において、プラスチックの３Ｒに

関する目標を設定。

・G20大阪サミットにおいて、海洋プラスチックごみに係る「大阪ブルー・オー　　　　シャン・ビジョン」を共有。

・「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行（2019年10月）。

（「都道府県食品ロス削減推進計画」の策定（努力義務）について規定（第12条））

≪府の現状≫

・大阪市とともに「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を実施し、使い捨てプラス

チックの削減、さらなる３Rの推進、ポイ捨て防止、プラスチック代替品の活用を

推進。（2019年１月）

・府民、事業者、行政が取り組むべきプラスチック対策を検討するため、事業者団体、有識者などで構成される「おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議」を

設置。（2019年８月）

・上位計画である「大阪府環境総合計画」の次期計画策定について、府環境審議会へ

諮問。（2019年６月、2020年６月答申予定）

２．課　題

≪一般廃棄物≫

　　・再生利用率の向上

（大阪府：13.4%　〔全国平均：20.2%〕）

　　・事業系排出量(1人1日当たり)の削減

（大阪府(381g/人・日)〔全国平均：279g/人・日〕）

　　・災害発生時における適正な処理体制の構築

（災害廃棄物処理計画策定済み：12市）

≪産業廃棄物≫　※５年に１度の委託調査において現況把握するため、経年推移データなし。

　　・最終処分量は減少しているものの、近年、排出量は増加傾向。再生利用率は横ばい。

　　・事業系一般廃棄物へのプラスチック類の混入率削減

　　　（事業系一般廃棄物へのプラスチック類混入率　16.2％(2014年度)）

　・建設現場からの混合廃棄物の排出削減

（建設混合廃棄物の発生率：6.0%(2014年度)）

３．次期計画の検討内容（基本的事項）※詳細は資料３－２

・国の第四次循環型社会形成推進基本計画や、府の環境総合計画答申等を踏まえた

「目指すべき将来像」。

・廃棄物処理法に基づく基本方針を踏まえた、「目標年度」と「目標項目」。

・国の「プラスチック資源循環戦略」を踏まえた、プラスチックごみの３Ｒの目標。

・現状の課題を踏まえた新たな施策の基本方針と各主体の行動指針。

（ﾘﾃﾞﾕｰｽ・ﾘﾕｰｽの推進、ﾘｻｲｸﾙの推進、適正処理の推進、非常災害時の適正処理）

・計画の進行管理（市町村別の取組評価方法など）